

令和2年度新隊員課程(後期)修了



野外訓練課目をすべて
終えた直後の新隊員



発行所
明野駐屯地
広報班

Twitter
はじめました



Twitter
QRコード

航空機誘導訓練



水難救助訓練



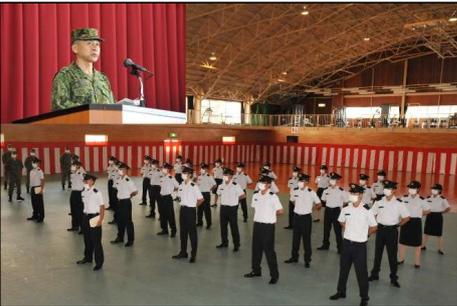
体力検定



射撃予習



卒業式



25km行進訓練



対空戦闘訓練



明野駐屯地HP
及びフェイスブ
ックも引き続きよろ
しくお願いします。



明野駐屯地HP
QRコード



Facebook
QRコード

令和2年7月7日〜令和2年9月18日の間、航空学校において新隊員課程(後期)教育が行われました。

今年入校した30名の新隊員は約2ヶ月間、陸上自衛官として必要な体力や射撃はもちろんのこと、航空科隊員として必要な航空機整備、航空救難及び野外における行動に関する知識及び技能の修得のための教育訓練に取り組みました。

今年には新型コロナウイルス感染拡大による感染防止対策で、駐屯地内も例年と違って少し窮屈な環境でしたが、新隊員は例年と変わらず新鮮で力強く、駐屯地に活力を与えてくれました。

7月中旬に実施した野外訓練では、着隊して目が浅いにも関わらず、猛暑の中、掩体構築、重機関銃を使用した対空戦闘訓練等に積極的に取り組み、夜間の行進訓練においては、30名全員が脱落すること無く25kmを完歩しました。

新隊員は9月18日に後期教育を修了し、それぞれ、明野本校、霞ヶ浦校、宇都宮校及び飛行教導隊(富士飛行班含む)へ配属されました。

彼らが今後、陸上自衛隊航空科隊員として立派に成長し活躍してくれることを期待しています。

令和2年度 航空安全会議

「VTC会議で「3密回避」

航空学校は、令和2年7月2日及び7月3日に、陸上幕僚監部が企画する航空安全会議に参加しました。今回は、新型コロナウイルス感染防止のためVTCで行われ、実施間は「マスクの着用」、「座席間隔をとる」、「室内の換気を行う」、「別室に会議視聴会場を設ける」など『3密』を避け、リスク低減を図りました。

会議は冒頭の陸上幕僚副長の訓示に始まり、前段の「全体会議」、後段の「職種会議」の2部構成で行われ、目的である航空安全上の問題点等について、総括的見地から対策を講ずるとともに、航空安全に関する施策の普及徹底を図り、航空安全確保に資するため、航空安全の確保に関して活発な議論が交わされました。



V T C 会 議



会 議 視 聴 会 場

第5対戦車ヘリコプター隊

「航空隊長検閲受閲」

第5対戦車ヘリコプター隊は、令和2年9月11日～15日までの間、青野ヶ原演習場において中部方面航空隊長訓練検閲を受閲しました。



展 開 地 進 入 する A H



警 戒 中 の 隊 員

ヘリ隊長の検閲間要望事項「敵に勝利せよ。」のもと、コロナウイルス感染防止に留意しながら、ヘリ火力戦闘、警戒自衛戦闘、FARP派遣、野外整備、通信構成等を隊員一丸となつて実施し、中部方面隊唯一のヘリ火力戦闘部隊としての実力を発揮するとともに、じ後の訓練の資を得ました。

また、今回については9月8日に新戦力として迎えたばかりの新隊員7名を参加させたが、状況下の先輩の情熱溢れる指導の下、航空戦士として誇りと自覚を持たせることができました。引き続き、隊員一丸となつて任務を必遂できる部隊として、更なる練度向上に努めます。



新 隊 員 を 指 導 する 上 級 曹 長



F A R P 班 命 令 下 達

真珠抄

『大和心』

伊勢国松阪出身で古事記や源氏物語の古典を研究した本居宣長という著名な国学者がいます。「敷島の和心」を思い出す人は多いでしょう。

あけの

宣長は、外国の学問や知識という「漢才（からざえ）」をもとに良識や判断まで外国頼みとし、常識や従前からある判断基準が借り物であることを忘れ、絶対視することを「漢意（からごころ）」と言つて、日本人に警鐘を鳴らしています。一方で学問や知識を誤らず使う日本人としての良識や判断力を「大和心」と捉え、漢才を含めた学問や知識との融合を求めています。日本人のDNAには「敷島の和心」を人間はば朝日に匂う山桜花」にあるように、朝日に照らされている満開の桜を見て、なんと美しく麗しいのだろうと思う感性があります。大和心を磨くには、物事や人の心を深く知り、それに寄り添う「物のあわれを知る」ことに尽きるとも言っています。

最近の世情を見ても人の気持ちに寄り添う心が希薄化しているような気がしてなりません。秋の夜長に物のあわれを知るには最適「源氏物語」に挑戦してみても如何でしょうか。

(飛行実験隊長)

部隊紹介

航空学校第2教育部



UHC



総合技量査定



卒業地上滑走



CRM集合教育



OH-1飛行再開



卒業式

「一丸となれ」を具現化すべく熱意をもって教育、シミュレータ等教材管理及び部隊の訓練支援も行っています。

これからも、全国の部隊等と連携・協力しつつ、部職員一丸となり全航空科部隊の「活模範」の意識を堅持し、「哲学を持ち、伝える」べく教育を担当していきます。また、昨年8月より教育を開始した第85期幹部航空操縦課程（前期）学生が、課程主任小林3佐以下教官の熱意ある教育と指導、学生の日々の研鑽と努力が実を結び、7月30日に卒業の日を迎えました。学生長堀込3尉を核として誰一人欠けることなく、8名全員が見事に栄光の航空徽章を胸にそれぞれの機種の後期課程へと巣立っていきました。

全国の航空科隊員の皆さん、第2教育部で担当する各種教育等へ積極的にご希望ください。全力で教育・支援致します。また、職員・操縦教官として挑戦されたい方からのご連絡をお待ちしております。

栄光の紹介



初級装輪操縦課程 隊長賞
第107全股支援大隊整備中隊
明野派遣隊 有竹3曹
「驕る事無く練度向上に努めます。」



車両無事故走行5万キロ
航空学校 第1教育部 温井2曹
「今後も安全に留意し任務を遂行してまいります。」



車両無事故走行5万キロ
航空学校 第1教育部 永田2曹
「皆様のご指導とご支援に感謝しつつ、引き続き安全に任務を実施していきます。」



隊員自主募集
航空学校 第1教育部 渡邊3曹
「今後も積極的に声掛けを継続します。」



第198期陸曹上級課程第4陸曹教育隊長賞
航空学校 総務部 園田1曹
あらゆる状況の変化に「気付き」「考え」「判断」「行動」できる上曹を目指します。



第21期陸曹初級航空機整備UH-60課程
航空学校 整備部 戸谷2曹
「諸先輩方に追いつけるよう、これからも日々精進してゆきます。」

伊勢の

知識

このコーナーでは知っているようであまり知らない伊勢の人・物・事・場所、そして自然を紹介します。

伊勢 高麗広の道



とび石

杉の森、流れる川は清浄そのものです。

内宮宇治橋から高麗広に向かって歩いて10分ほどのところに、とび石とよばれる所があります。このとび石は、五十鈴川を渡るために、70センチ角の平らな自然石が流れに対して斜めに力強く並んでいます。過去には地元の小学校の遠足の定番だったそうです。

とび石を過ぎ、さらに五十鈴川を上流に進むと、地元民が炊飯やコーヒー用に求めに来る清水の湧水を汲む場所があり、休日には多くの人が清らかな水を求めて訪れています。

伊勢神宮・内宮から五十鈴川を遡ると、「高麗広（こうらいびろ）」と呼ばれる森があります。この高麗広にはかつて多くの伊勢神宮関係者が住んでおり、現在も一部の神宮関係者が住んでいるといわれていますが、ほぼ手つかずの自然に囲まれた地域であり、一面の

伊勢神宮から高麗広へ続く道は、時の流れが止まったかのように静寂で、神聖な空気を感じることができ、現在では稀な場所といえるのではないのでしょうか。秋深まる中、日常を少し忘れて、高麗広の自然に溶け込みに出かけてはいかがでしょうか。



湧水

参考資料…インターネット

新着任部隊長紹介

第5対戦ヘリコプター隊長

2等陸佐

なが おか たけ よし
永岡 健義



教育訓練研究本部（目黒）から参りました。明野勤務は4年8ヶ月振りですが、新たな気持ちで頑張ります。どうかよろしくお願ひ致します。

定 年 退 官



8月3日
第5対戦ヘリコプター隊長
2等陸佐
後藤 博明



8月1日
第2教育部
陸曹長
金泥 正博

永年の自衛隊勤務、大変お疲れ様でした。
皆様のご健康とご多幸を祈念しております。